



子どもたち一人一人が笑顔ですごす学校をめざして



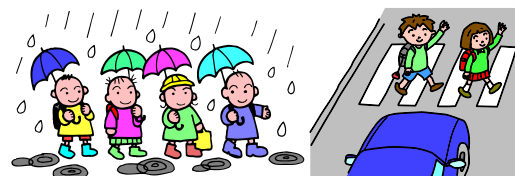
冬は寒い！ その中で・・・

今週は、ずっと雨の日が続きました。気温も低くなり、一気に冬が来たという感じでした。朝、交通指導をしていると子ども達は、寒い中を元気に、また寒そうに通学してきます。その姿を見ながら、「これでいいんだよ。がんばれ！」という思いがわいてきます。冬は寒いのが当たり前です。寒いからと言って寒さから逃げるのではなく、寒さをしっかり体感するということが、子ども達にとってとても大切なことだと思います。肌を刺すような冷たさ、指先がかじかむ冷たさ・・・そのような感覚を知るということは、大げさに言えば自然から学び、その中でどのように生きていくのかということまでつながっているように思います。寒い中で、がんばって生活すること、そして、部屋に入ってほっとすること、そんなことを子ども達に今、体験してほしいと思います。

○ 12月に入って、学校周辺の道路の交通量も増えています。運転者も急いでいるのでしょ。黄色信号で止まらないようなことも目にするが増えてきました。交通安全に十分に気をつけるように学校でも繰り返し指導を行います。ご家庭や地域でもご指導をよろしくお願いします。

- ☆1 外では常に周りに注意をはらう習慣をつけましょう。
- ☆2 寒いときには、手袋をしましょう。(ポケットに手を突っ込んで走っている子は危険です。)
- ☆3 フードをかぶっていると、車の動きに気付かないことがあります。
- ☆4 子どもの自転車事故が多発しています。特に低学年は発達段階からも子どもだけで自由に乗らせることは危険です。

子どもさんと安全について話し合い、ルールをきめるなど、よろしくお願いします。



年下をいつくしみ、年上をうやまう

12月2日(火)、本校で、「なかよしデー」の取り組みが行われました。「なかよしデー」は高学年と低学年をペアにしたクラスで、一緒に遊んだり活動をしたりする、異年齢の集団での教育効果をねらった取組です。

今回は1年生と6年生、2年生と4年生、3年生と5年生がグループをつくって、一緒にそうじを行いました。当日は寒い中でしたが、どの子も掃いたり雑巾がけをしたり一生懸命に掃除に取り組んでいました。本校の子ども達はそうじをよく頑張ります。それは本校の自慢の一つです。

この取り組みの中で、年上の子は年下の子に「こうやって掃くとゴミがよくとれるんだよ。」「雑巾がけはこんなふうにするときれいになるよ。」など丁寧に親切に教えていました。また年下の子は、お兄ちゃんやお姉ちゃんのいうことを素直を聞いて、教えてもらったように掃除をがんばっていました。その姿はほほえましく、あたたかいものでした。

子ども達がそうじにしっかり取り組んでほしいことはもちろんですが、もう一つ、年上の子は年下の子をいつくしみ、年下の子は年上の子をうやまうという関係も大切にしていってほしいと思います。



にぎりごぶし
村野 四郎

悲しいときや苦しいとき
ほくほいつも
こぶしをかたくにぎりしめる
すると 苦しみや悲しみは
みんな ほくからにげていく

勉強で なきたくなったとき、
ほくほぐっと
こぶしを かたくにぎりしめる
すると本の字が はっきりみえてくる

また 北風が ビュービュー
いて
ほくをいじめるとき
ほくほむねをはり
ぐっとこぶしをにぎりしめる
すると 風のやつ、
急に道ぼたの木へにげ帰り
えだを、ガサガサ くやしそう
にゆすっているんだ。